

# つうしん こぎつね通信



とくしゅう  
特集

ぼう  
防

さい  
災

だい  
第118号



こほんだな  
子どもの本棚

ぼうさい  
防災ってなんだろう？

ことびら  
子どもの扉

もしものときに



ぼうさい  
『みんなの防災えほん』



やまむら たけひこ かんしゅう  
山村 武彦/監修

ゆう え  
YUU/絵

けんきゅうじょ  
PHP研究所

369

ミ

じしん お たいふう ちか おおゆき おおあめ ふ  
地震が起こった、台風が近づいてきた、大雪・大雨が降った、こんなときどうす  
ればいいのか？ いつでも起こりえる、いろいろな災害から命を守るため  
に、きをつけなければならないことを、ぐたいいい しょうかい み まも  
ための知識がつく1冊です。

2024.12

きょうとしふしみちゅうおうとしょかん  
京都市伏見中央図書館

# ぼうさい 防災ってなんだろう？

## 『はなちゃんの はやあるき はやあるき』

うべ きょうこ さく かの ひろこ え いわさきしよてん  
宇部 京子 / 作 菅野 博子 / 絵 岩崎書店

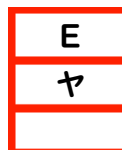


えんちょうせんせいがいっつもいいます。「自分で自分を守るので  
すよ！」ひなんくんれんの<sup>あと</sup>後、はなちゃんは、<sup>はやある</sup>早歩きの  
れんしゅう <sup>はじ</sup>練習を始めました。すっすっさっさっ すっすっさっさ  
っ。なんのためだろう。

ひなんくんれんの<sup>とき</sup>時、そして<sup>じしん</sup>地震がきた<sup>とき</sup>時は、はなちゃ  
んのおはなしを<sup>おも</sup>思い出してね。

## 『かじどうするの？』

せべ まさゆき え くにざき のぶえ かんしゅう ういる ちいくけんきゅうしょ へんちよ きん ほししゃ  
せべ まさゆき / 絵 国崎 信江 / 監修 WILL ども知育研究所 / 編著 金の星社



ひはくらしにかかせません。でもあつかいを<sup>まちが</sup>間違えると、  
おお <sup>かじ</sup>大きな火事になることがあります。火事をおこさないため  
にできることはあるかな？また、いざ<sup>かじ</sup>火事がおこったと  
き、どのように<sup>こうどう</sup>行動すればいいだろう？<sup>き</sup>気をつけることを  
し  
知っておこう！

### 【おすすめの本】

『ドラえものの<sup>じしん</sup>地震はなぜ<sup>お</sup>起こる どう<sup>み</sup>身を守る』 国崎 信江 / 監修

ふじこ ふじお げんさく みたにゆきひろ しょうがつかん  
藤子・F・不二雄 / キャラクター原作 三谷幸広 / まんが 小学館 (M/369/ド)

『<sup>さいがい</sup>災害に<sup>ま</sup>負けない<sup>ぼうさい</sup>防災ハンドブック』 ほり きよかず ちょ せせらぎ<sup>しゅっばん</sup>出版 (369/ホ)



いざというときに、<sup>し</sup>知っておくと<sup>やくだ</sup>役立つ<sup>ちしき</sup>知識の本を<sup>ほん</sup>紹介<sup>しょうかい</sup>します。

## もしもひとりぼっちだったら

災害はいつおこるかわかりません。災害がおこって助けがくるまで、長くて3日間（7時間）。その間、守ってくれる大人が近くにおらず、自分だけの力で逃げのびなければならぬかもしれません。災害発生後最初の10秒、次の1分、その次の1時間、その次の1日それぞれやるべきことがあるのだそうです。

『72時間生き抜くための101の方法』 夏緑 / 著 たかおかゆみこ / 絵 童心社 (369/ナ)

## もしも電気やガスがとまったら

命があっても、健康でなくてははいけません。もしもの時の食事は、からだに必要な栄養をとりこみ、命をつなぐだけのもではありません。食事をする事で前向きな気持ちになったり、リラックスできます。おいしく食べることで心が満たされ、災害を乗り越える力がわいてくるのです。

『「もしも」のときに役に立つ！防災クッキング1』 今泉マユ子 / 著

フレーベル館 (369/イ/1)

## もしも避難することになったら

まずは家を安全な場所にするのが大事ですが、家が危険になったらすぐに逃げなければなりません。避難のときに体をまもるもの、避難生活でもふだんの生活に近くらしをするために役立つグッズもあります。

『こどものための防災教室』 今泉マユ子 / 著 理論社 (369/イ)

# おたよりコーナー

「こぎつねポスト」にたくさんのおたよりがとどきました！



たくさんのお本を楽しく読ませてくれてありがとうございます。みんながすずかに本を読んで、とてもうれしそうです。これからも本をいっぱい読みたいです。😊

こぎつねさんわたしはこぎん本をたくさん読んでいます。なかでも「あしたからは名たんてい」のシリーズが大好きです。あとこぎつねさんのしゅみはなんですか。教えてくださいたいです。

たくさんのおもしろいほんがあつてうれしは舞なのしいです。これからはちやさんほんをよみたいであ

いつもこの本をかりてよんでいます。とてもおもしろいし、かんがひをするお話がいっぱいです。こぎつねさんのほんが

おたよりのトイ



たくさんのおたより とってもうれしいな。こぎつねのしゅみは、読書とみんなのおたよりを読むこと、そして本の木の絵馬にコメントを書くことだよ。これからもたくさんのおたより待ってるよ！



2024年は、能登半島地震の発生や南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が出されたり、災害につながるような大雨が降ったりと防災について考えることが多かったと思います。いつやってくるかわからない災害に備えるために図書館の本で、「防災」について調べてみませんか？

ふしみ ちゅうおう としよかん  
**伏見中央図書館**  
 〒612-8051  
 ふしみ くいままち  
**伏見区今町659-1**  
 ☎ (075) 622-6700